

令和6年度病床機能報告(病棟票)

病棟名	8. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況					9. 分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)
	当該病棟から退院した患者数【1年間】					分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)(年間)
		うち、退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)(年間)	うち、退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者(年間)	うち、退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者(年間)	うち、退院後1か月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者	
3階南病棟	94	86	0	8	0	0
4階北病棟	937	885	38	14	0	0
5階南病棟	1,188	1,173	2	12	1	0
5階北病棟	869	828	24	17	0	0
6階南病棟	941	925	5	9	2	0
6階北病棟	1,338	1,313	12	12	1	0
7階南病棟	1,048	1,006	20	21	1	0
7階北病棟	823	807	6	10	0	0
8階南病棟一1(MFICU)	3	3	0	0	0	168
8階南病棟一2(7対1)	851	849	1	0	1	194
8階北病棟一1(NICU)	35	34	0	0	1	0
8階北病棟一2(GCU)	113	112	0	1	0	0
HCU	36	32	0	4	0	0
別館3階病棟	798	768	8	20	2	0
別館4階病棟	816	791	11	14	0	0
別館5階病棟	379	352	2	25	0	0

病棟名	10. 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合						
	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の評価方法	「急性期一般入院基本料」などの届出					
		A得点が1点以上の患者割合(年間)	A得点が2点以上の患者割合	A得点が2点以上かつB得点が3点以上の患者割合	A得点が3点以上の患者割合	C得点が1点以上の患者割合	A得点が2点以上かつB得点が3点以上またはA得点が3点以上またはC得点が1点以上の患者割合
3階南病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	86.0	76.5	72.0	49.9	31.6	76.7
4階北病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	51.1	39.0	21.6	19.4	7.0	32.0
5階南病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	44.7	37.9	19.6	12.6	23.0	39.0
5階北病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	52.4	44.3	27.2	17.9	25.3	44.2
6階南病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	27.2	21.6	12.4	4.8	42.7	48.3
6階北病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	52.4	47.7	17.5	12.4	21.3	35.6
7階南病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	41.6	32.8	14.9	9.7	5.8	22.9
7階北病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	49.4	42.8	17.8	10.1	11.2	28.4
8階南病棟一1(MFICU)	-	-	-	-	-	-	-
8階南病棟一2(7対1)	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	61.6	29.4	14.9	12.9	63.4	64.4
8階北病棟一1(NICU)	-	-	-	-	-	-	-
8階北病棟一2(GCU)	-	-	-	-	-	-	-
HCU	-	-	-	-	-	-	-
別館3階病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	64.3	58.4	20.6	24.7	1.9	35.3
別館4階病棟	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	52.1	46.1	24.6	14.8	8.1	34.5
別館5階病棟	-	-	-	-	-	-	-

２ 行政施策への要望

現在、北九州市が行っている施策や事業34項目のなかから、「今後、もっと力を入れてほしい」ものを1位から3位まで回答を求めた。その結果を上位順に示したものが(表2-1)、上位10項目を棒グラフで表したものが(図2-1)である。

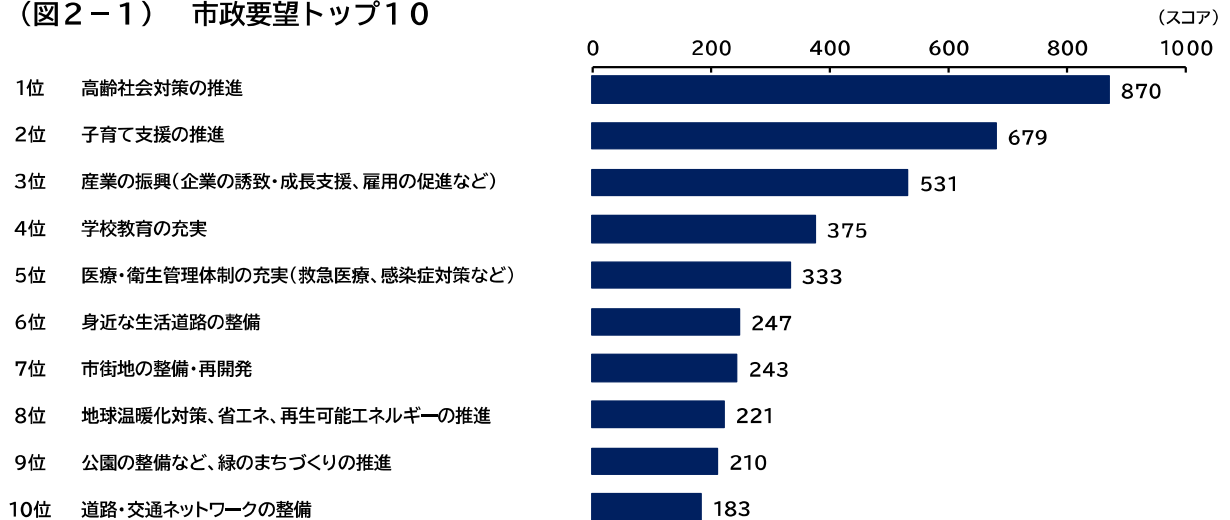
(表2-1)「今後、もっと力を入れてほしい」もの

順位	調査項目	スコア	平均スコア
1位	高齢社会対策の推進	870	0.742
2位	子育て支援の推進	679	0.579
3位	産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)	531	0.453
4位	学校教育の充実	375	0.320
5位	医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)	333	0.284
6位	身近な生活道路の整備	247	0.211
7位	市街地の整備・再開発	243	0.207
8位	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	221	0.189
9位	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	210	0.179
10位	道路・交通ネットワークの整備	183	0.156
11位	市役所の窓口サービスの向上	169	0.144
12位	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	168	0.143
13位	防犯、暴力追放運動の推進	164	0.140
14位	交通・物流(空港、港湾など)機能の強化	162	0.138
15位	駐車対策	160	0.137
16位	青少年の健全育成の推進	153	0.131
17位	ごみの適正処理とリサイクル	150	0.128
18位	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	149	0.127
19位	障害者施策の推進	136	0.116
20位	健康づくりの推進(検診、予防、食育など)	124	0.106
21位	防災体制の充実	117	0.100
22位	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまち	90	0.077
23位	生涯学習の推進	89	0.076
23位	芸術・文化活動の振興	89	0.076
23位	スポーツの振興	89	0.076
26位	大気・騒音・水質などの環境保全	88	0.075
27位	消費者被害防止対策	85	0.073
28位	学術の振興(学術研究都市の推進、市立大学の充実など)	79	0.067
29位	都市景観の整備(まち並みづくりと歴史的建造物の活用など)	78	0.067
30位	観光・コンベンション(大規模な会議など)の振興	74	0.063
31位	人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進	66	0.056
31位	地域コミュニティづくりの支援	66	0.056
33位	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	46	0.039
34位	ボランティア・NPO活動の支援	37	0.032

(注)スコアは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したもの

平均スコア:1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの

(図2-1) 市政要望トップ10



(1) 調査結果の概要

市民の要望が高かった、市政要望ベスト10を中心に結果をみると、

◇ 総合 1位:「高齢社会対策の推進」(スコア 870)

平成23年度まで17年連続で1位、平成24年度以降も1位～2位を推移し、市民の要望が高く継続している。

◇ 総合 2位:「子育て支援の推進」(スコア 679)

平成19年度から4位または5位、平成25年度から2年連続で3位、平成27年度から5年連続 2位、令和2年度から3位となり、令和4年度から2位に順位を上げ市民の要望が高く継続している。

◇ 総合 3位:「産業の振興」(スコア 531)

平成20年度から連続して5位以内、平成29年度は4位、平成30年度から2年連続で3位、令和3年度の4位から前年度3位に順位を上げ、今年度も3位を維持している。

今回の調査においてランク外から2つの評価カテゴリーがランク内に入った。変動内容は下記の通りであった。

前年度より順位を上げたのは3項目

総合 4位(前年度 5位) 学校教育の充実(スコア 375)

総合 9位(前年度 10位) 公園の整備など、緑のまちづくりの推進(スコア 210)

総合10位(前年度 12位) 道路・交通ネットワークの整備(スコア 183)

前年度より同順位は6項目

総合 1位(前年度 1位) 高齢社会対策の推進(スコア 870)

総合 2位(前年度 2位) 子育て支援の推進(スコア 679)

総合 3位(前年度 3位) 産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)(スコア 531)

総合 6位(前年度 6位) 身近な生活道路の整備(スコア 247)

総合 7位(前年度 7位) 市街地の整備・再開発(スコア 243)

総合 8位(前年度 8位) 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進(スコア 221)

前年度より順位を下げたのは1項目

総合 5位(前年度 4位) 医療・衛生管理体制の充実(スコア 333)

(2) 市政要望の推移

ここでは、主に上位10位までの市政要望の経年変化の様子をみる。また順位の指標とは別に、項目ごとの評価の水準(高低)を比較可能にするため、総合得点を回答者数で割った平均スコアも分析に加えた。以下、4年間を中心に経年変化をみると次のような特徴を指摘できる。

R5 順位	調査項目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
1	高齢社会対策の推進	(1)	0.707	(2)	0.600	(1)	0.630	(1)	0.742
2	子育て支援の推進	(3)	0.467	(3)	0.473	(2)	0.419	(2)	0.579
3	産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)	(4)	0.450	(4)	0.417	(3)	0.394	(3)	0.453
4	学校教育の充実	(5)	0.338	(5)	0.286	(5)	0.262	(4)	0.320
5	医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)	(2)	0.645	(1)	0.738	(4)	0.317	(5)	0.284
6	身近な生活道路の整備	(7)	0.181	(8)	0.189	(6)	0.250	(6)	0.211
7	市街地の整備・再開発	(9)	0.163	(7)	0.198	(7)	0.212	(7)	0.207
8	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(6)	0.228	(6)	0.259	(8)	0.206	(8)	0.189
9	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(10)	0.153	(13)	0.144	(10)	0.168	(9)	0.179
10	道路・交通ネットワークの整備	(14)	0.141	(10)	0.163	(12)	0.161	(10)	0.156

- ◇ 総合 1位:「高齢社会対策の推進」(平均スコア 0.742)
令和3年度の2位以外は1位、平均スコアは令和元年度から下降していたが、令和4年度から上昇に転じている。
- ◇ 総合 2位:「子育て支援の推進」(平均スコア 0.579)
2位または3位を推移し、平均スコアは令和4年度には下降したものの、今年度は上昇している。
- ◇ 総合 3位:「産業の振興」(平均スコア 0.453)
3位または4位を推移し、平均スコアは令和2年度以降から下降していたが、今年度は上昇している。
- ◇ 総合 4位:「学校教育の充実」(平均スコア 0.320)
令和2年度以降5位で推移していたが、今年度は4位となり、平均スコアも上昇している。
- ◇ 総合 5位:「医療・衛生管理体制の充実」(平均スコア 0.284)
令和4年度は前年度から3つ順位を下げ4位に、今年度はさらに順位を下げ5位に、平均スコアも下降した。
- ◇ 総合 6位:「身近な生活道路の整備」(平均スコア 0.211)
6位から8位を推移し、前年度と同じく6位であるが、平均スコアは下降した。
- ◇ 総合 7位:「市街地の整備・再開発」(平均スコア 0.207)
令和3年度に7位となり、今年度まで7位で推移していたが、平均スコアは前年度より下降した。
- ◇ 総合 8位:「地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進」(平均スコア 0.189)
令和4年度に前年度の6位から8位に下降し、今年度も8位となっており、平均スコアも令和3年度以降下降傾向にある。
- ◇ 総合 9位:「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」(平均スコア 0.179)
前年度ランク外から10位となり、今年度は9位に上昇している。平均スコアも令和3年度以降上昇傾向にある。
- ◇ 総合 10位:「道路・交通ネットワークの整備」(平均スコア 0.156)
令和3年度の10位から令和4年度はランク外となり、今年度は10位となっているが、平均スコアには前年度よりも下降している。

2 調査の結果

(1) 北九州市政に期待すること

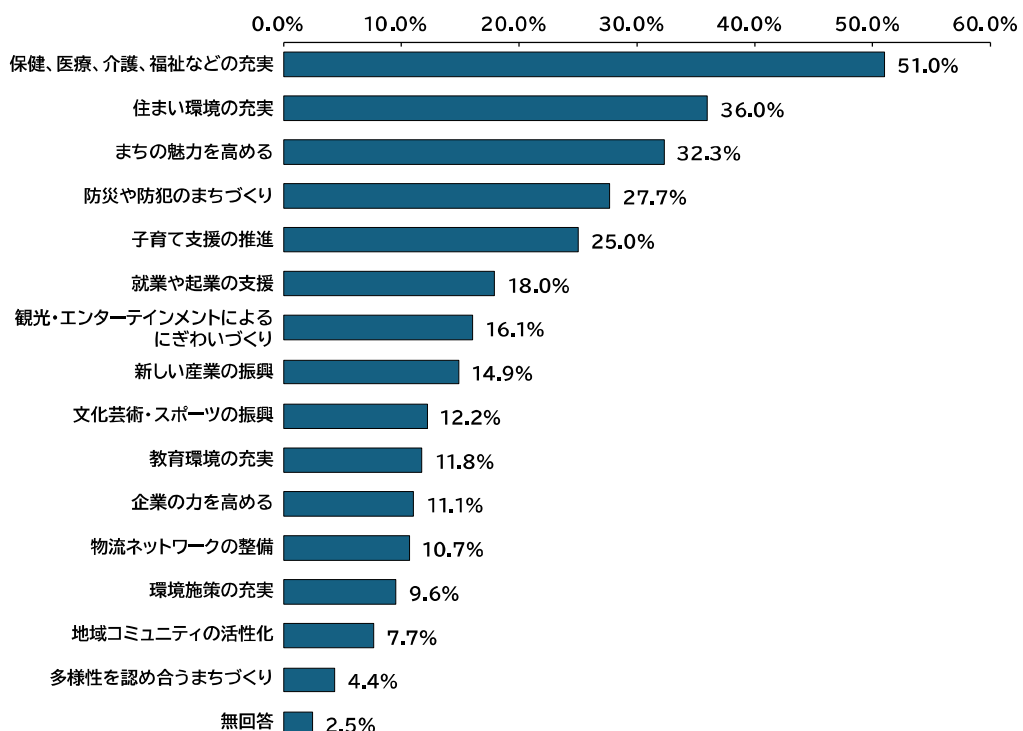
問1 北九州市が行う取組で、「特に期待すること」を次の15項目から「3つ」選び、番号を○で囲んでください。

N=845人

項 目	回答数	割合
1 物流ネットワークの整備	90	10.7%
2 就業や起業の支援	152	18.0%
3 新しい産業の振興	126	14.9%
4 企業の力を高める	94	11.1%
5 まちの魅力を高める	273	32.3%
6 住まい環境の充実	304	36.0%
7 教育環境の充実	100	11.8%
8 文化芸術・スポーツの振興	103	12.2%
9 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり	136	16.1%
10 環境施策の充実	81	9.6%
11 防災や防犯のまちづくり	234	27.7%
12 子育て支援の推進	211	25.0%
13 多様性を認め合うまちづくり	37	4.4%
14 保健、医療、介護、福祉などの充実	431	51.0%
15 地域コミュニティの活性化	65	7.7%
無回答	21	2.5%

◆ 北九州市が行う取組で、特に期待することについて

1位 保健、医療、介護、福祉などの充実	51.0%
2位 住まい環境の充実	36.0%
3位 まちの魅力を高める	32.3%



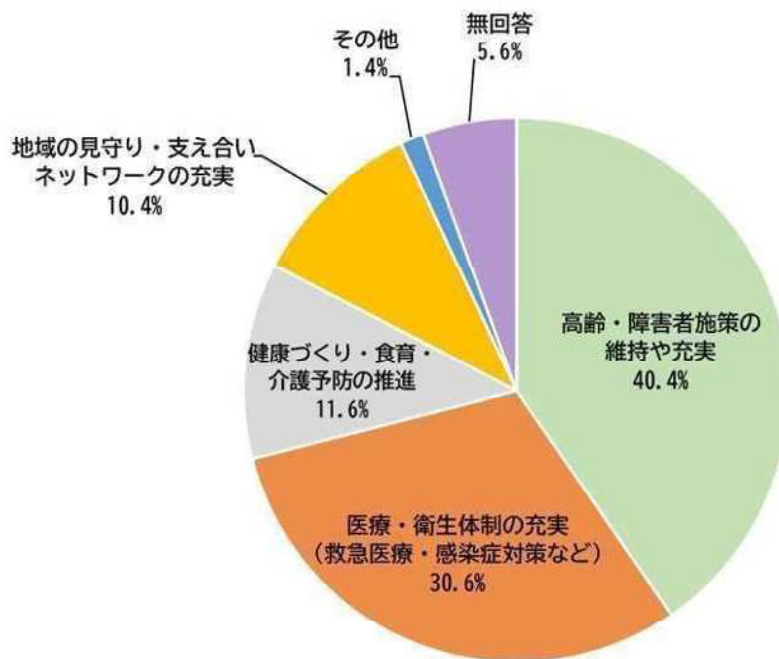
⑭ 保健、医療、介護、福祉などの充実

N=431人

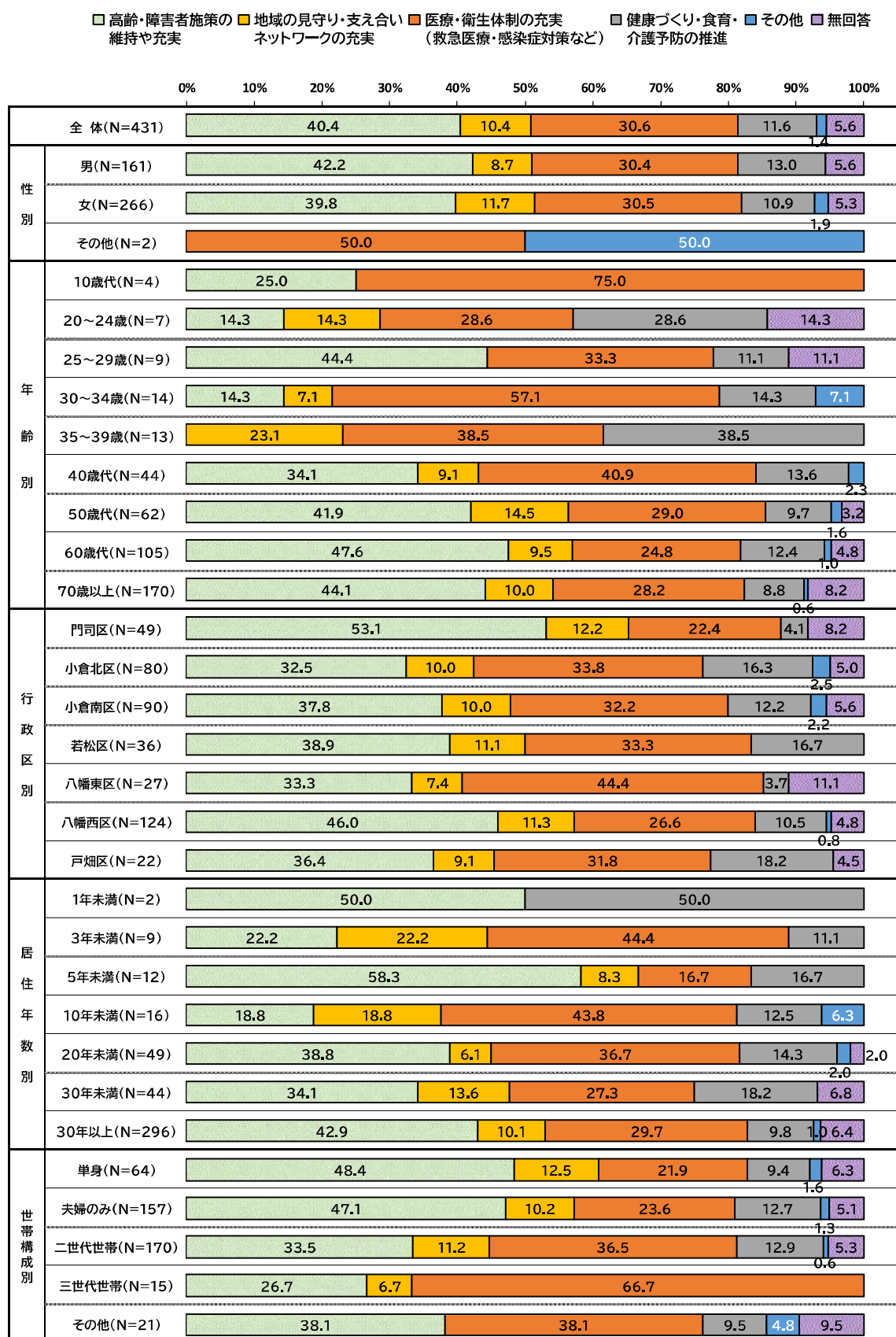
項 目	回答数	割合
① 高齢・障害者施策の維持や充実	174	40.4%
② 地域の見守り・支え合いネットワークの充実	45	10.4%
③ 医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)	132	30.6%
④ 健康づくり・食育・介護予防の推進	50	11.6%
⑤ その他	6	1.4%
無回答	24	5.6%

◆ 保健、医療、介護、福祉などの充実について、

1位 高齢・障害者施策の維持や充実	40.4%
2位 医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)	30.6%
3位 健康づくり・食育・介護予防の推進	11.6%



問1-14 保健、医療、介護、福祉などの充実



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

保健、医療、介護、福祉などの充実

【全体的傾向】

保健、医療、介護、福祉などの充実（15 項目中 1 位）の中では、「高齢・障害者施策の維持や充実」が 40.4%と最も多くなっている。次いで「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」（30.6%）、「健康づくり・食育・介護予防の推進」（11.6%）、「地域の見守り・支え合いネットワークの充実」（10.4%）となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- Z 世代の 25～29 歳では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多いが、20～24 歳では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」や「健康づくり・食育・介護予防の推進」の方が多くなっている。
- 30 歳代・40 歳代では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」、50 歳代以上では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多くなっている。

《行政区別にみると》

- 門司区では「高齢・障害者施策の維持や充実」が 53.1%と多く、八幡東区では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」が 44.4%と最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 指摘できる特徴的な点は、特にみられない。

《世帯構成別にみると》

- 単身、夫婦のみ世帯では「高齢・障害者施策の維持や充実」、二世帯世帯、三世帯世帯では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」が最も多くなっている。

【その他の内容】

- ・ 医療従事者の賃金 up、人員不足解消
- ・ タバコによる健康障害を防止する取り組みの強化を。
- ・ エッセンシャルワーカーの方々への待遇改善→医療・介護等の質の向上につながると思います。